

国内感染症報告の状況

資料No.2-4

期間(平成15年10月27日～平成16年3月31日)

番号	一般名	感染症名	参考事項
1	トロンピン	C型肝炎	原料血漿及び製品のNAT検査については、HCVRNA陰性の結果を得ている。製造工程では、各種ウイルス除去・不活化を実施している。
2	人赤血球濃厚液、新鮮凍結人血漿	C型肝炎抗体陽性	保管検体は、すべてNAT陰性であった。
3	人赤血球濃厚液	敗血症	無菌試験およびエンドトキシン試験を実施したところ全て陰性であった。
4	人血小板濃厚液	敗血症、心拍数増加、血圧上昇、発熱	無菌試験およびエンドトキシン試験を実施したところ全て陰性であった。
5	人赤血球濃厚液、人血小板濃厚液	B型肝炎	保管検体は、すべてNAT陰性であった。
6	人赤血球濃厚液	C型肝炎抗体陽性	保管検体は、すべてNAT陰性であった。
8	新鮮凍結人血漿	C型肝炎抗体陽性	保管検体は、すべてNAT陰性であった。
10	人赤血球濃厚液、新鮮凍結人血漿	C型肝炎陽性	保管検体は、すべてNAT陰性であった。
11	新鮮凍結人血漿	B型肝炎陽性	遡及調査に伴う症例、保管検体は陽性
13	人血小板濃厚液、新鮮凍結人血漿	B型肝炎、C型肝炎	保管検体は、すべてNAT陰性であった。
14	人赤血球濃厚液、新鮮凍結人血漿	セラチア性敗血症	無菌試験およびエンドトキシン試験を実施したところ全て陰性であった。
16	Ph4処理酸性人免疫グロブリン	マイコプラズマ感染	マイコプラズマ抗体価が上昇した症例。製剤中のマイコプラズマ抗体が、血液中の抗体価上昇の原因となった可能性が考えられる。
18	人赤血球濃厚液	C型肝炎	保管検体は、すべてNAT陰性であった。
19	人血小板濃厚液	敗血症	無菌試験およびエンドトキシン試験を実施したところ全て陰性であった。
20	人赤血球濃厚液	B型肝炎陽性	保管検体は、すべてNAT陰性であった。
21	人赤血球濃厚液	B型肝炎陽性	輸血前及び輸血後の患者血液検体は、HBV-DNA及びHB抗体陽性であった。
22	人赤血球濃厚液	C型肝炎陽性	保管検体は、すべてNAT陰性であった。
23	人赤血球濃厚液	B型肝炎陽性	保管検体は、すべてNAT陰性であった。
24	人赤血球濃厚液	B型肝炎抗体陽性	保管検体は、すべてNAT陰性であった。
25	人血小板濃厚液	細菌性敗血症	無菌試験およびエンドトキシン試験を実施したところ全て陰性であった。
26	人赤血球濃厚液	C型肝炎陽性	保管検体は、すべてNAT陰性であった。また、輸血前及び輸血後の患者の血液検体はHCV-RNA陰性であった。
27	人赤血球濃厚液	B型肝炎陽性	保管検体は、すべてNAT陰性であった。
29	人赤血球濃厚液	伝染性紅斑	保管検体の1本がパルボウイルスNAT陽性であった。以前の症例
30	人血清アルブミン、人赤血球濃厚液	C型肝炎	原料血漿のNAT検査については、HCVRNA陰性の結果を得ている。製造工程では、各種ウイルス除去・不活化を実施している。
31	組換え沈降B型肝炎ワクチン	B型肝炎表面抗原陽性	製造工程には、人由来成分は使用していない。HBs抗原はその後陰性化し、HBs抗体は、全く陽性化していないことから、B型肝炎ウイルスに感染したとは考えにくい。
33	人赤血球濃厚液	敗血症	無菌試験およびエンドトキシン試験を実施したところ全て陰性であった。
34	人赤血球濃厚液	B型肝炎	保管検体は、すべてNAT陰性であった。
35	人赤血球濃厚液	C型肝炎陽性	保管検体は、すべてNAT陰性であった。
36	人赤血球濃厚液	B型肝炎陽性	保管検体は、すべてNAT陰性であった。
37	人赤血球濃厚液	B型肝炎陽性	遡及調査に伴う症例、保管検体は陽性
38	人赤血球濃厚液	C型肝炎陽性	保管検体は、すべてNAT陰性であった。
39	人赤血球濃厚液	C型肝炎陽性	保管検体は、すべてNAT陰性であった。
40	人赤血球濃厚液	発熱、細菌感染	無菌試験およびエンドトキシン試験を実施したところ全て陰性であった。
41	新鮮凍結人血漿	B型肝炎	遡及調査に伴う症例、保管検体は陽性
42	人赤血球濃厚液	伝染病暴露(HBV感染)	遡及調査に伴う症例、保管検体は陽性
43	人赤血球濃厚液	C型肝炎陽性	保管検体は、すべてNAT陰性であった。
44	人赤血球濃厚液	細菌感染、ショック	無菌試験およびエンドトキシン試験を実施したところ全て陰性であった。
45	洗浄人赤血球浮遊液	伝染性紅斑、汎血球減少症	保管検体において、1検体がNAT陽性であった。血漿分画製剤の製造工程においては、ウイルス不活化を実施するとともに最終製品に対してNATを実施し、安全性を確認。

番号	一般名	感染症名	参考事項
46	ヒアルロン酸ナトリウム	細菌性関節炎	同一ロットの保存品においては、無菌試験はすべて適合であった。
47	人血清アルブミン	悪心、悪寒、発熱	該当製剤の残液の無菌試験を実施した陰性であった。また、製造工程において不活化、除去等を行っている。
51	人赤血球濃厚液、人血清アルブミン	C型肝炎抗体陽性	保管検体は、すべてNAT陰性であった。
52	人赤血球濃厚液	敗血症	無菌試験およびエンドトキシン試験を実施したところ全て陰性であった。
53	人赤血球濃厚液、人全血液、人血小板濃厚液	B型肝炎	保管検体は、すべてNAT陰性であった。
54	人赤血球濃厚液	B型肝炎表面抗原陽性	保管検体は、すべてNAT陰性であった。
55	新鮮凍結人血漿、人赤血球濃厚液	B型肝炎	保管検体は、すべてNAT陰性であった。
56	人赤血球濃厚液	β 型溶血レンサ球菌感染、発熱	無菌試験およびエンドトキシン試験を実施したところ全て陰性であった。
57	洗浄人赤血球浮遊液	細菌感染	無菌試験およびエンドトキシン試験を実施したところ全て陰性であった。
58	人赤血球濃厚液	細菌感染	無菌試験およびエンドトキシン試験を実施したところ全て陰性であった。
59	人赤血球濃厚液	C型肝炎陽性	保管検体は、すべてNAT陰性であった。
63	ヒトフィブリノゲン、トロンピン画分、アプロチニン	C型肝炎	原料血漿のNAT検査については、HCVRNA陰性の結果を得ている。製造工程では、各種ウイルス除去・不活化を実施している。
65	人赤血球濃厚液	非A非B非C型肝炎	保管検体は、すべてNAT陰性であった。
66	人血小板濃厚液	細菌感染	無菌試験およびエンドトキシン試験を実施したところ全て陰性であった。
68	人赤血球濃厚液、人血小板濃厚液	B型肝炎表面抗原陽性	保管検体は、すべてNAT陰性であった。
69	新鮮凍結人血漿	アナフィラキシーショック、細菌感染	無菌試験およびエンドトキシン試験を実施したところ全て陰性であった。
71	人血小板濃厚液	エンドトキシンショック	無菌試験およびエンドトキシン試験を実施したところ全て陰性であった。
72	人赤血球濃厚液、新鮮凍結人血漿、人血小板濃厚液	B型肝炎陽性	保管検体は、すべてNAT陰性であった。
75	ヒトフィブリノゲン、トロンピン画分、アプロチニン	C型肝炎	原料血漿のNAT検査については、HCVRNA陰性の結果を得ている。製造工程では、各種ウイルス除去・不活化を実施している。
76	人赤血球濃厚液、新鮮凍結人血漿、人血小板濃厚液	C型肝炎	保管検体は、すべてNAT陰性であった。
77	人赤血球濃厚液	C型肝炎陽性	患者輸血後のHCV-RNAは陰性であった。保管検体は、すべてNAT陰性であった。
78	人血小板濃厚液、人赤血球濃厚液	B型肝炎	保管検体は、すべてNAT陰性であった。
79	新鮮凍結人血漿、人赤血球濃厚液	B型肝炎陽性	保管検体は、すべてNAT陰性であった。
80	人免疫グロブリン	C型肝炎陽性	原料血漿のNAT検査については、HCVRNA陰性の結果を得ている。製造工程では、各種ウイルス除去・不活化を実施している。また、当該患者については、HCV抗体陽性、HCV-RNA陰性である。
81	人赤血球濃厚液	抗HBc抗体陽性	遡及調査に伴う症例、保管検体は陰性
82	人赤血球濃厚液、人血小板濃厚液、新鮮凍結人血漿	C型肝炎抗体陽性	患者の輸血前後の血液検体のHCV-RNAは陰性であった。保管検体は、すべてNAT陰性であった。
83	人血小板濃厚液	細菌感染、血圧低下、発熱、悪寒	無菌試験およびエンドトキシン試験を実施したところ全て陰性であった。
84	人赤血球濃厚液	細菌感染、発熱	無菌試験およびエンドトキシン試験を実施したところ全て陰性であった。
85	人赤血球濃厚液、新鮮凍結人血漿	B型肝炎陽性	保管検体は、すべてNAT陰性であった。
86	人赤血球濃厚液、新鮮凍結人血漿	B型肝炎陽性	遡及調査に伴う症例、保管検体は陽性
87	人赤血球濃厚液、人血小板濃厚液	C型肝炎陽性	保管検体は、すべてNAT陰性であった。
88	人赤血球濃厚液、新鮮凍結人血漿	C型肝炎陽性	保管検体は、すべてNAT陰性であった。
89	人赤血球濃厚液	B型肝炎陽性	保管検体は、すべてNAT陰性であった。
90	新鮮凍結人血漿	HIV感染	遡及調査に伴う症例、保管検体は陽性
91	人赤血球濃厚液、新鮮凍結人血漿	C型肝炎抗体陽性	患者の輸血前後の血液検体のHCV-RNAは陰性であった。保管検体は、すべてNAT陰性であった。
92	新鮮凍結人血漿	C型肝炎	保管検体は、すべてNAT陰性であった。
93	人赤血球濃厚液、洗浄人赤血球浮遊液、人血小板濃厚液	B型肝炎	保管検体は、すべてNAT陰性であった。
95	人赤血球濃厚液、新鮮凍結人血漿、人血小板濃厚液	B型肝炎	患者の輸血前後の血液検体のHBV-DNAは陰性であった。保管検体は、すべてNAT陰性であった。
96	人赤血球濃厚液	C型肝炎	保管検体は、すべてNAT陰性であった。

番号	一般名	感染症名	参考事項
97	人赤血球濃厚液	敗血症	無菌試験およびエンドトキシン試験を実施したところ全て陰性であった。
98	人赤血球濃厚液	抗HBs抗体陽性	遡及調査に伴う症例、保管検体は陽性
99	人赤血球濃厚液、人血小板濃厚液、新鮮凍結人血漿	B型肝炎陽性	保管検体は、すべてNAT陰性であった。
100	人赤血球濃厚液	C型肝炎	保管検体は、すべてNAT陰性であった。
102	人血小板濃厚液、人赤血球濃厚液、新鮮凍結人血漿	B型肝炎陽性	保管検体は、すべてNAT陰性であった。
103	人血小板濃厚液、人赤血球濃厚液	B型肝炎表面抗原陽性	保管検体は、すべてNAT陰性であった。
104	人赤血球濃厚液、人血小板濃厚液、人血小板濃厚液HLA	B型肝炎表面抗原陽性	保管検体は、すべてNAT陰性であった。
105	人赤血球濃厚液、人血小板濃厚液	B型肝炎	保管検体は、すべてNAT陰性であった。
106	人赤血球濃厚液	B型肝炎	保管検体において、1検体がNAT陽性であった。NAT陽性であった血液と同一採血者の原料血漿については、使用されていない。
107	人赤血球濃厚液	敗血症	無菌試験およびエンドトキシン試験を実施したところ全て陰性であった。
108	人赤血球濃厚液	B型肝炎陽性	保管検体は、すべてNAT陰性であった。
109	人赤血球濃厚液	B型肝炎表面抗原陽性	保管検体は、すべてNAT陰性であった。
110	人赤血球濃厚液	C型肝炎抗体陽性	患者の輸血前後の血液検体のHCV-RNAは陽性であった。保管検体は、すべてNAT陰性であった。
111	乾燥スルホ化人免疫グロブリン、人赤血球濃厚液	B型肝炎	本剤投与前の患者検体はHBc抗体陽性であった。原料血漿のNAT検査については、陰性の結果を得ている。製造工程では、各種ウイルス除去・不活化を実施している。
112	Ph4処理酸性人免疫グロブリン	HTLV-1抗体陽性	患者及び当該ロット中にはHTLV抗原は検出できなかった。本剤の当該ロットにHTLV-1抗体が含まれていた。
113	乾燥スルホ化人免疫グロブリン	B型肝炎	原料血漿のNAT検査については陰性であった。製造工程では、各種ウイルス除去・不活化を実施している。
115	人血小板濃厚液、人赤血球濃厚液、新鮮凍結人血漿	C型肝炎抗体陽性	保管検体は、すべてNAT陰性であった。
116	人血小板濃厚液HLA	細菌感染、悪寒、戦慄、発熱	無菌試験およびエンドトキシン試験を実施したところ全て陰性であった。
117	人赤血球濃厚液、新鮮凍結人血漿	B型肝炎	保管検体は、すべてNAT陰性であった。
118	人赤血球濃厚液、白血球除去人赤血球浮遊液	B型肝炎陽性	保管検体は、すべてNAT陰性であった。
119	人赤血球濃厚液	C型肝炎	保管検体は、すべてNAT陰性であった。
120	人血小板濃厚液、人赤血球濃厚液	B型肝炎陽性	保管検体は、すべてNAT陰性であった。
121	人血小板濃厚液、人赤血球濃厚液	B型肝炎陽性	遡及調査に伴う症例、保管検体は陰性
122	人赤血球濃厚液、新鮮凍結人血漿	C型肝炎	保管検体は、すべてNAT陰性であった。
123	人赤血球濃厚液、人血小板濃厚液、新鮮凍結人血漿	C型肝炎抗体陽性	保管検体は、すべてNAT陰性であった。
124	人赤血球濃厚液	C型肝炎陽性	患者の輸血後の血液検体のHCV-RNAは陰性であった。保管検体は、すべてNAT陰性であった。
125	人赤血球濃厚液、新鮮凍結人血漿	C型肝炎陽性	保管検体は、すべてNAT陰性であった。
126	人血小板濃厚液、人赤血球濃厚液	敗血症	無菌試験およびエンドトキシン試験を実施したところ全て陰性であった。
127	人赤血球濃厚液	真菌感染、心不全	無菌試験およびエンドトキシン試験を実施したところ全て陰性であった。
128	人赤血球濃厚液	C型肝炎	保管検体は、すべてNAT陰性であった。
129	人血小板濃厚液	細菌感染	無菌試験およびエンドトキシン試験を実施したところ全て陰性であった。
130	人赤血球濃厚液	B型肝炎	保管検体は、すべてNAT陰性であった。
131	人赤血球濃厚液	B型肝炎	保管検体において、1検体がNAT陽性であった。NAT陽性であった血液と同一採血者のFFPは使用済み、原料血漿については、使用されていない。
132	ルリオクトコグアルファ	C型肝炎抗体陽性	製剤投与前に患者がHCV抗体陽性が判明取り下げ
133	人赤血球濃厚液	C型肝炎	保管検体は、すべてNAT陰性であった。
134	人赤血球濃厚液	B型肝炎	保管検体は、すべてNAT陰性であった。
135	人赤血球濃厚液、人血小板濃厚液	B型肝炎陽性	保管検体は、すべてNAT陰性であった。
136	人赤血球濃厚液	B型肝炎陽性、C型肝炎陽性	患者輸血後の血液検体のNAT検査は、HBV及びHCVとも陰性であった。
137	人赤血球濃厚液、人血小板濃厚液	B型肝炎陽性	保管検体は、すべてNAT陰性であった。
138	人赤血球濃厚液	B型肝炎	保管検体は、すべてNAT陰性であった。

番号	一般名	感染症名	参考事項
139	人赤血球濃厚液	C型肝炎抗体陽性	患者輸血後の血液検体のNAT検査は、HCV陰性であった。
140	人赤血球濃厚液、新鮮凍結人血漿	B型肝炎陽性	保管検体は、すべてNAT陰性であった。
141	新鮮凍結人血漿	C型肝炎抗体陽性	保管検体は、すべてNAT陰性であった。
142	人血小板濃厚液、人赤血球濃厚液、新鮮凍結人血漿、人全血液	B型肝炎	保管検体は、すべてNAT陰性であった。献血者の一人がその後の献血時にHBV関連検査が陽性となった。
143	新鮮凍結人血漿	B型肝炎陽性	遡及調査に伴う症例、保管検体は陽性
144	人赤血球濃厚液	B型肝炎	保管検体において、1検体がNAT陽性であった。NAT陽性であった血液と同一採血者の原料血漿は、すでに原料として使用されており、当該製剤を自主回収した。
145	人赤血球濃厚液、新鮮凍結人血漿	B型肝炎陽性	保管検体は、すべてNAT陰性であった。
146	人赤血球濃厚液、新鮮凍結人血漿、人血小板濃厚液、人全血液	B型肝炎陽性	保管検体は、すべてNAT陰性であった。
147	人赤血球濃厚液	C型肝炎陽性	患者輸血後の血液検体のNAT検査は陰性であった。保管検体はすべてNAT陰性であった。
149	人赤血球濃厚液、新鮮凍結人血漿	敗血症	無菌試験およびエンドキシン試験を実施したところ全て陰性であった。
150	人血小板濃厚液、人赤血球濃厚液、人血清アルブミン、加熱人血漿蛋白、ポリエチレングリコール処理人免疫グロブリン	B型肝炎陽性	保管検体は、すべてNAT陰性であった。
151	人赤血球濃厚液、新鮮凍結人血漿	C型肝炎	保管検体は、すべてNAT陰性であった。
153	人赤血球濃厚液	C型肝炎抗体陽性	患者輸血前及び輸血後の血液検体のHCV-RNAは陰性であった。保管検体は、すべてNAT陰性であった。
154	人赤血球濃厚液	細菌感染、ショック	無菌試験およびエンドキシン試験を実施したところ全て陰性であった。
155	人血清アルブミン	C型肝炎	原料血漿及び最終製品のNAT検査については陰性であった。製造工程では、各種ウイルス除去・不活化を実施している。
157	人赤血球濃厚液、新鮮凍結人血漿、人血小板濃厚液	C型肝炎陽性	保管検体は、すべてNAT陰性であった。
158	人赤血球濃厚液	抗HBc抗体陽性	遡及調査に伴う症例、保管検体は陰性
159	人赤血球濃厚液、人血小板濃厚液	B型肝炎	保管検体は、すべてNAT陰性であった。
160	人血小板濃厚液	B型肝炎	保管検体は、すべてNAT陰性であった。
161	人赤血球濃厚液	B型肝炎陽性	保管検体は、すべてNAT陰性であった。
162	人赤血球濃厚液、新鮮凍結人血漿	B型肝炎陽性	保管検体は、すべてNAT陰性であった。
163	人赤血球濃厚液	C型肝炎陽性	保管検体は、すべてNAT陰性であった。
164	人赤血球濃厚液	敗血症	無菌試験およびエンドキシン試験を実施したところ全て陰性であった。
165	人赤血球濃厚液、新鮮凍結人血漿	B型肝炎陽性	保管検体は、すべてNAT陰性であった。
166	ヒトフィブリノゲン、トロンビン画分、アプロチニン	C型肝炎陽性	原料血漿のNAT検査については、HCVRNA陰性の結果を得ている。製造工程では、各種ウイルス除去・不活化を実施している。
167	人赤血球濃厚液、白血球除去人赤血球浮遊液、人血小板濃厚液	B型肝炎表面抗原陽性	保管検体は、すべてNAT陰性であった。
168	人赤血球濃厚液、新鮮凍結人血漿、人血小板濃厚液	B型肝炎陽性	保管検体は、すべてNAT陰性であった。
169	人赤血球濃厚液	C型肝炎	保管検体は、すべてNAT陰性であった。
170	人血小板濃厚液、人赤血球濃厚液	B型肝炎表面抗原陽性	保管検体は、すべてNAT陰性であった。
171	人血小板濃厚液、人赤血球濃厚液	B型肝炎	保管検体は、すべてNAT陰性であった。
172	人血小板濃厚液、人赤血球濃厚液	肝炎ウイルスキャリアー(B型肝炎)	保管検体は、すべてNAT陰性であった。
173	人赤血球濃厚液、新鮮凍結人血漿	C型肝炎陽性	保管検体は、すべてNAT陰性であった。
174	ポリエチレングリコール処理人免疫グロブリン、人血清アルブミン、加熱人血漿蛋白、人血小板濃厚液、人赤血球濃厚液	B型肝炎	原料血漿及び最終製品のNAT検査については、HBV-DNA陰性の結果を得ている。製造工程では、各種ウイルス除去・不活化を実施している。
175	人血小板濃厚液	敗血症、胸痛、血圧低下	当該輸血用製剤及び同一採血番号の血漿の無菌試験を実施したところ全て陰性であった。
176	人赤血球濃厚液	C型肝炎	保管検体は、すべてNAT陰性であった。
177	人赤血球濃厚液	B型肝炎陽性	保管検体は、すべてNAT陰性であった。
178	人赤血球濃厚液、新鮮凍結人血漿	C型肝炎抗体陽性	保管検体は、すべてNAT陰性であった。
179	人赤血球濃厚液	C型肝炎陽性	患者輸血後HCV-RNA及びHCV抗体陰性のため、取り下げ。
180	人血小板濃厚液	B型肝炎	保管検体は、すべてNAT陰性であった。

番号	一般名	感染症名	参考事項
181	人血小板濃厚液、人赤血球濃厚液	B型肝炎	保管検体において、1検体がNAT陽性であった。NAT陽性であった血液と同一採血者の原料血漿については、使用されていない。
182	人赤血球濃厚液	発熱、細菌感染	当該輸血用製剤の無菌試験結果は不適、同一採血番号の血漿の無菌試験結果は適合であった。
184	人血小板濃厚液、人赤血球濃厚液	ショック、呼吸不全、咽頭不快感、掻痒症、細菌感染	同一採血者の血漿の無菌試験およびエンドトキシン試験を実施したところ全て適合であった。
185	人赤血球濃厚液	敗血症	同一採血者の血漿の無菌試験およびエンドトキシン試験を実施したところ全て適合であった。
186	新鮮凍結人血漿、人赤血球濃厚液、人血小板濃厚液	B型肝炎	保管検体は、すべてNAT陰性であった。
187	新鮮凍結人血漿、人赤血球濃厚液	C型肝炎	保管検体は、すべてNAT陰性であった。
188	人赤血球濃厚液	ショック、細菌感染	同一採血者の血漿の無菌試験およびエンドトキシン試験を実施したところ全て適合であった。
189	人赤血球濃厚液	血圧低下、細菌感染	同一採血者の血漿の無菌試験およびエンドトキシン試験を実施したところ全て適合であった。また、患者の血液培養の結果は陰性であった。
190	人赤血球濃厚液、白血球除去人赤血球浮遊液、人血小板濃厚液	B型肝炎e抗原陽性	保管検体は、すべてNAT陰性であった。
191	人血小板濃厚液、新鮮凍結人血漿、人赤血球濃厚液	C型肝炎	保管検体は、すべてNAT陰性であった。
192	人赤血球濃厚液、新鮮凍結人血漿、人血小板濃厚液	C型肝炎	保管検体は、すべてNAT陰性であった。
193	人赤血球濃厚液、人全血液	黄疸、B型肝炎	保管検体は、すべてNAT陰性であった。
194	人赤血球濃厚液、新鮮凍結人血漿、人血小板濃厚液	B型肝炎陽性	保管検体は、すべてNAT陰性であった。
195	人赤血球濃厚液	C型肝炎	保管検体は、すべてNAT陰性であった。
196	人赤血球濃厚液、洗浄人赤血球浮遊液	C型肝炎	保管検体は、すべてNAT陰性であった。
197	人赤血球濃厚液	C型肝炎陽性	保管検体は、すべてNAT陰性であった。
198	人赤血球濃厚液	B型肝炎	保管検体は、すべてNAT陰性であった。
199	人赤血球濃厚液	細菌感染、異常感	同一採血者の血漿の無菌試験およびエンドトキシン試験を実施したところ全て適合であった。また、患者の血液培養の結果は陰性であった。
200	人赤血球濃厚液	C型肝炎抗体陽性	保管検体は、すべてNAT陰性であった。
201	新鮮凍結人血漿	敗血症	同一採血者の血漿の無菌試験およびエンドトキシン試験を実施したところ全て適合であった。また、患者の血液培養の結果は陰性であった。
202	人血小板濃厚液、人赤血球濃厚液、新鮮凍結人血漿	B型肝炎	保管検体は、すべてNAT陰性であった。
203	人赤血球濃厚液、人血小板濃厚液	B型肝炎表面抗原陽性、肝障害	保管検体は、すべてNAT陰性であった。
204	人赤血球濃厚液	C型肝炎	保管検体は、すべてNAT陰性であった。
205	人赤血球濃厚液	敗血症性ショック、ショック	同一採血者の血漿の無菌試験およびエンドトキシン試験を実施したところ全て適合であった。
206	人赤血球濃厚液、人血小板濃厚液	肺障害、細菌感染	同一採血者の血漿の無菌試験およびエンドトキシン試験を実施したところ全て適合であった。
207	人血小板濃厚液、人赤血球濃厚液	B型肝炎陽性	保管検体は、すべてNAT陰性であった。
208	人赤血球濃厚液	B型肝炎陽性	保管検体は、すべてNAT陰性であった。
209	人赤血球濃厚液、人血小板濃厚液	B型肝炎表面抗原陽性	保管検体は、すべてNAT陰性であった。